

# ＜新社屋による全社員の交流力・創造力・発信力を高める働き方改革＞

**気づきを知識に換える**

現場での気づきをマニュアル化して発信



The Optimization Company  
株式会社 三技協

**知識を共有する**

より良い社会への提案が  
クラウドに集積される集合知



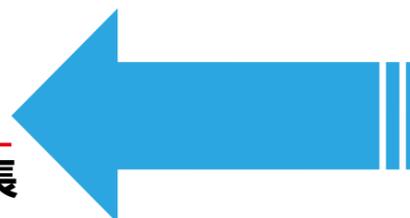
**表現に集中する**

交・創・発を高めるコミュニケーション棟



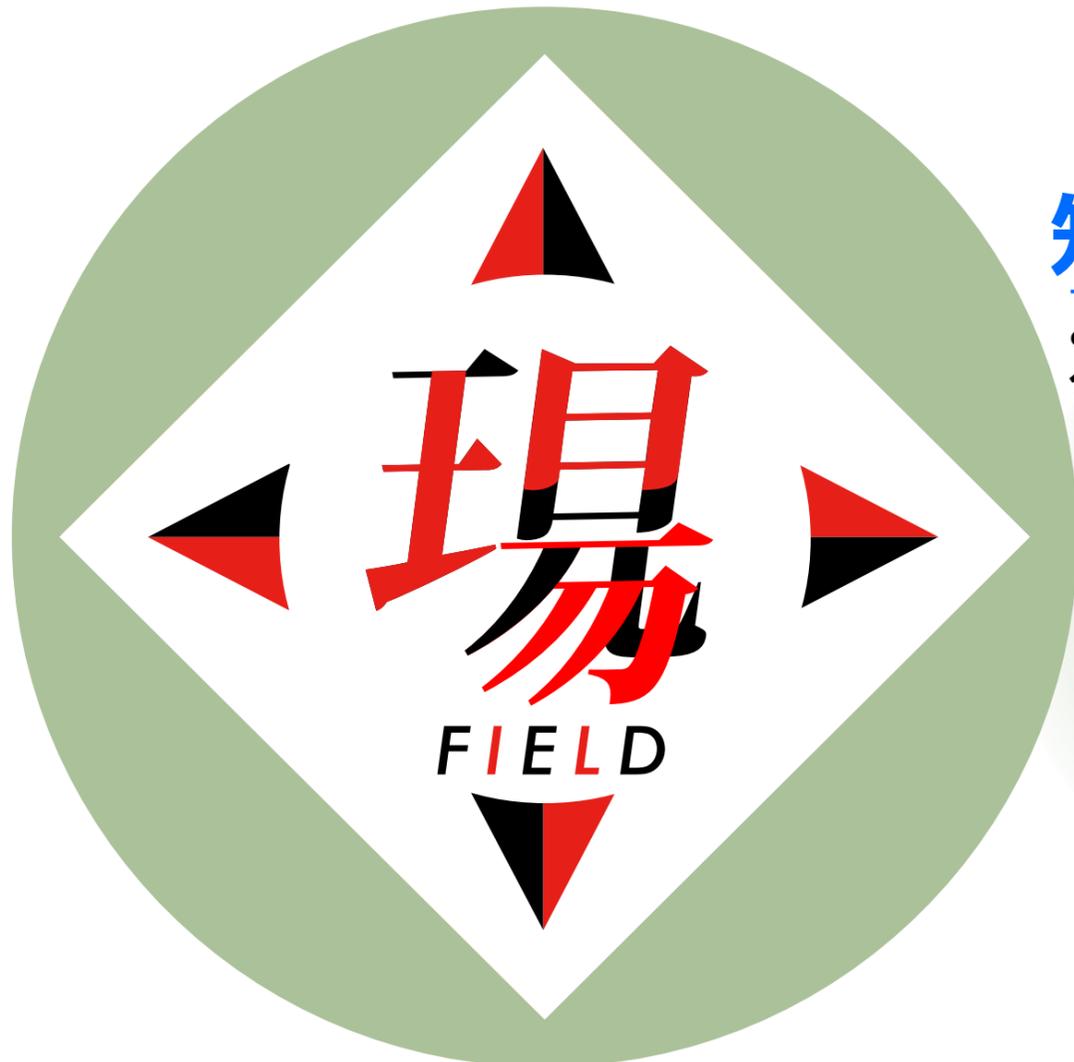
**準備に集中する**

通信による社会課題解決事業を推進する執務棟



**サービスを提供する**

現場の課題を共有して全社員が多能工に成長



# MIRAIMA <新社屋による全社員の交流力・創造力・発信力を高める働き方改革>

**秦** オプティマイゼーション・ホール (Optimization Hall)



M.C.S. スタジオ (M.C.S. Studio)



屋上 (Roof top)



**ア** アンモ・サイト (Anmo Site)

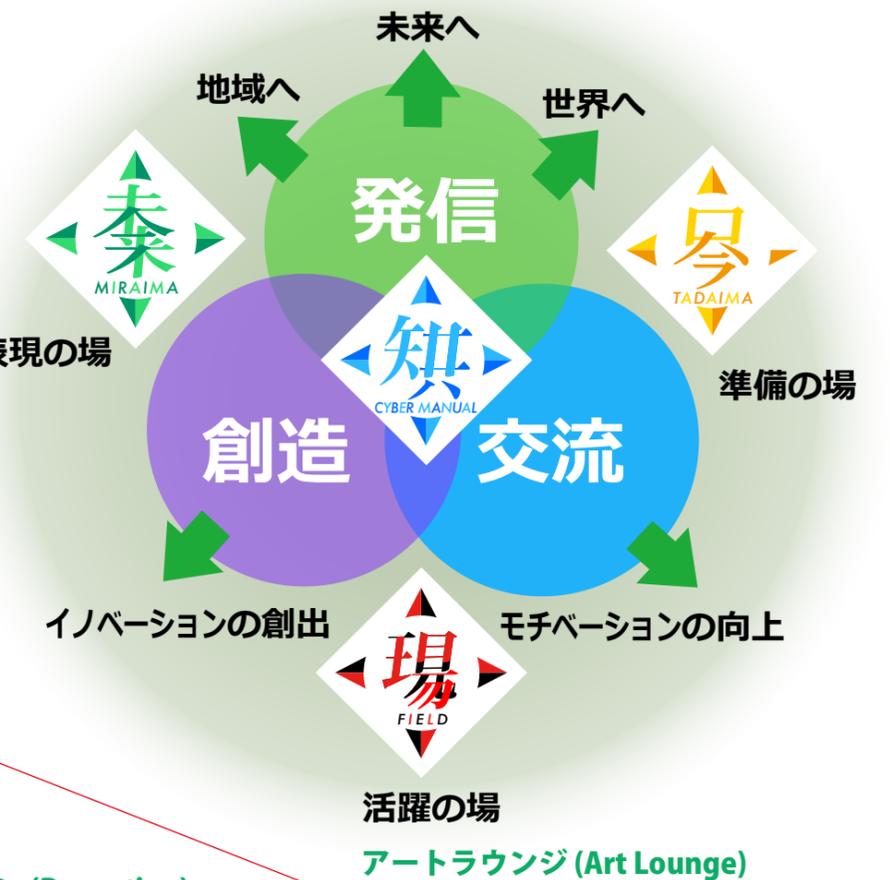
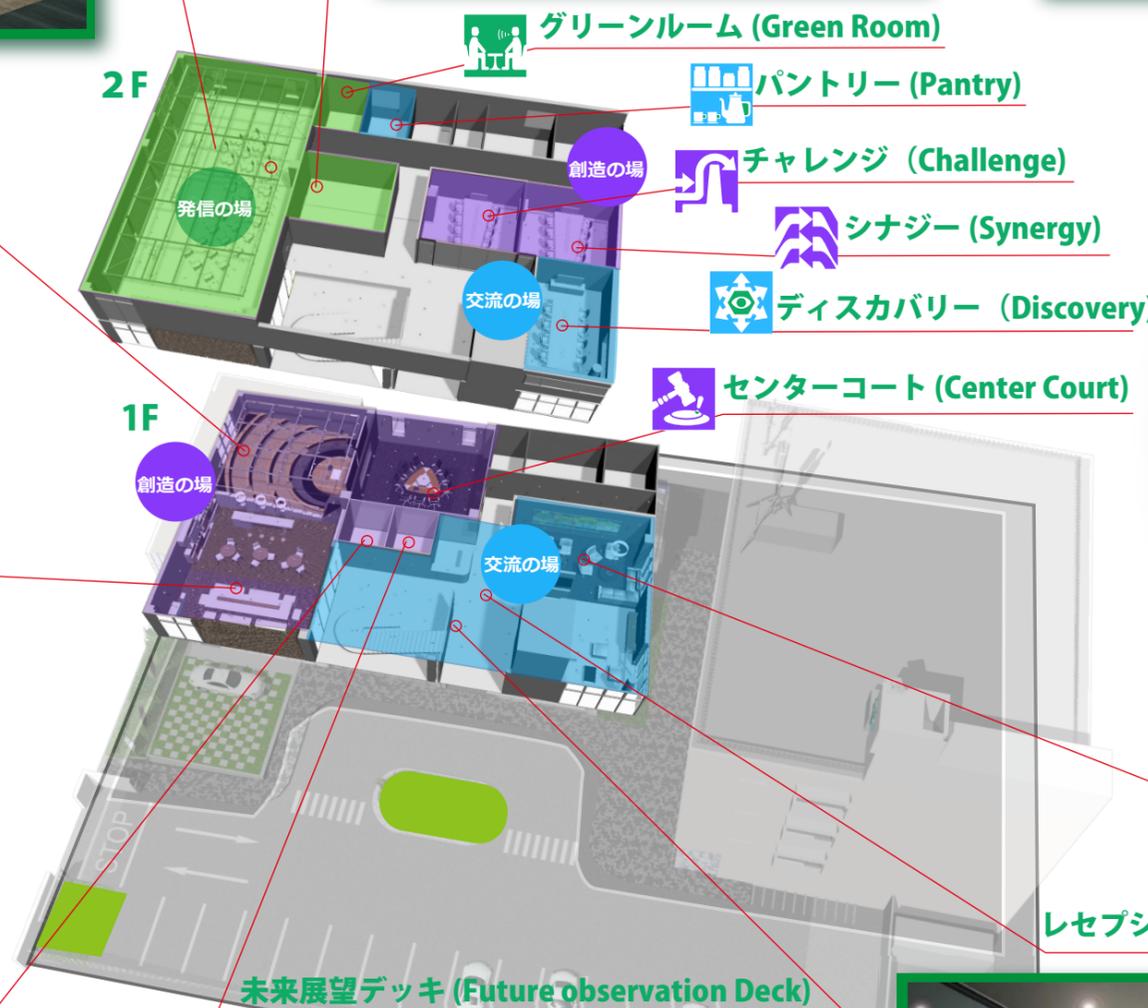


**イ** イノベ・サイト (Innovation Site)

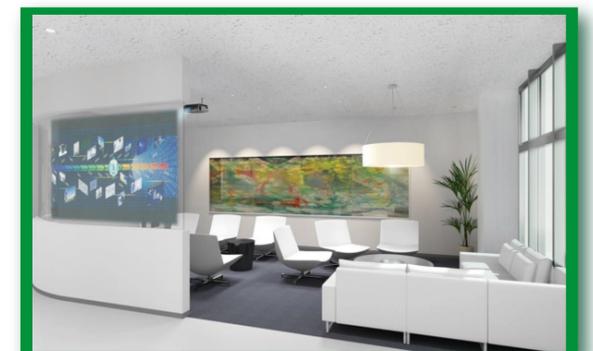


**構** 構想室▶左脳 (Activate Left Brain)

**構** 構想室▶右脳 (Activate Left Brain)



レセプション (Reception)



# <新社屋による全社員の交流力・創造力・発信力を高める働き方改革>

社員の相互研鑽・オープンオフィスとグローバルコミュニケーション

>>> 特集 >>>

**MIRAIMA (未来今) 宣言!**

**ミッションは「将来の世の中を想像し、我が社の行く末を創造する」**



2015年7月28日、MIRAIMAの新しいページにBS2015というタイトルが書き加えられた。

この日、MIRAIMAで起きたことは、世界をびっくりさせるような発明や、画期的な技術を使った新しい事業について発表するという華々しいものではなかった。はた目から見れば、いわゆるブレインストーミングである。ただし、そのプレストは、我が社の「未来と今をつなぐ」、あるいは「未来を生み出す」活動の原型となるものだった。

6月23日から、社内に向けて呼びかけたアイデア募集(テーマ「つながり」=何と何をつなぐと、何が実現できるのか?)に寄せられた応募は820件。その中から絞り込んで選ばれた18のアイデアの提案者を中心に25名が参加し、自分たちのアイデアをベースにしながら、未来を生み出すMIRAIMA的ブレインストーミングを展開した。

この日のミッションは、アイデア18選から最も優れたアイデアを選び出すことではない。各グループ内でアイデアをぶつけ合い、そこに生の意見を投げ込んで、「将来の世の中を想像し、我が社の行く末を創造する」というものだ。

つまり、MIRAIMAという場をコアとして会社全体で取り組んでいる改革運動のひな形を具現化してみようという試みである。アウトプットが「成功」と出るかどうか、それはスタート時点で保証されてはなかった。それでも、BS2015は「とまどい」「個別の主張」「つついイマ思考」から始まり、次第に活性化し、「参加」「連携」「上を向いたMIRAIMA思考」へと進化した。

はじめに記したように、BS2015は発明や新事業ではない。未来へ向けた、我が社の一歩である。しかし、今日環境変化の中で、自社の未来を創造しようというアクションを起こしている会社はそう多くない。座して待つよりも、歩きながら考える。それを実践した試みとして、BS2015はMIRAIMAに新しいページを加えたのである。

**MIRAIMA 始動!**



壁面ホワイトボードを使ってグループワーク!



若年層社員によるビジネス創出に向けた激論「ブレインストーミング 2017」

創造



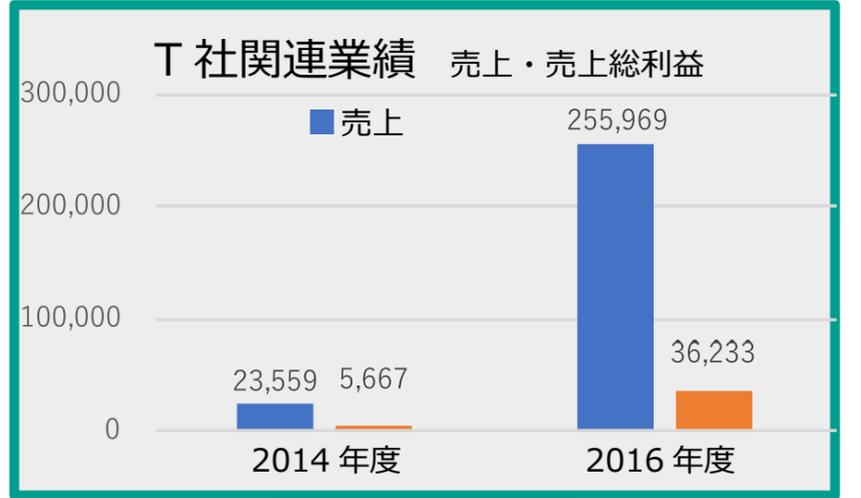
米国 BENTLEY Univ. MBA コース学生来訪 企業コンセプト見学

交流



さまざまな他業種の方との交流「地域と歴史」懇談会

発信



売上 10 倍